

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かへた		公表日			年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	児童指導員等加配加算を算定できる職員体制となっています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	活動や遊びによって部屋を分けて過ごせるようにしています。また、ボード等で自分で確認して行動できるよう工夫しています。	今後も活動や状況に合わせてながら環境整備を行います。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	静かな部屋や安心できるスペースなど使用できるようにしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝礼や会議で目標の共有や振り返り、状況確認をし、意見を出したり相談しやすい場作りを行っています。	業務改善の目標について定期的に振り返り、現状を確認しながら職員が積極的に関わられるよう取り組みます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者評価については結果や業務改善について会議で共有しています。	どのように取り組んでいくのかを具体的に設定し、取り組めるようにします。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼や会議で意見等を出せる機会を設けています。出た意見をどのようにしていくのか等を検討し、取り組んでいます。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	第三者による外部評価は行っていません。	外部評価の機会を検討します。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	法人内の学習会やオンデマンド研修を活用したり、外部研修への出席など学びの機会を確保しています。	今の取り組みと合わせて、事業所での学習会など今の支援等の実情に合わせた学びの場を作り、職員の資質の向上に取り組めます。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	支援プログラムを記載した事業所パンフレットを配布しておりますが、ホームページ等での公表はしていません。	ホームページでの支援プログラムの公表は令和7年3月中を予定しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	1回/年アセスメントを行い、こども本人とも保護者とは別の機会面で面談しながら計画を作成しています。	ニーズや課題を丁寧に分析し向き合いながら計画を作成します。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日頃の様子や関わり方法を踏まえて個別支援計画策定会議に担当スタッフ等が参加し、検討しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援内容を共有し、振り返りを行いながら支援しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	フォーマルなアセスメントとその都度必要に応じてインフォーマルなアセスメントも行い、スタッフの色々な情報を共有しながら支援に繋げています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	できるだけ具体的に支援内容を設定していません。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	担当職員を中心に、活動内容やねらいについて意見を出し合いながら取り組んでいます。				

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	子ども様子をみながら「今取り組みたいこと」も取り入れながら設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼で打ち合わせを行い支援をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日の様子や翌日に引き継ぎたい事などを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	活動の記録に振り返りや改善点についても記入できるようにしています。朝礼でも振り返りを行い改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6か月に1回はモニタリングを行っています。また、必要に応じて再計画を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	主体的に活動に参加したり、たくさんの経験を積めるように支援を行っています。	4つの活動を含めガイドラインに示されている内容についてスタッフの学ぶ場を確保し、よりよい支援ができるように努めます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	色んな場面で自己決定をすることをサポートし、その後も自己決定したことの成功・失敗等も見守り、支援をしています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者等が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	体制は整っています。連携方法について協議会を通して検討しよりよい連携ができるように取り組んでいます。	今後も関係機関とのよりよい連携について事業所だけの取り組みだけでなく協議会を通して地域で取り組めるようにできればと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	必要に応じて行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	相談支援専門員を通して就学前の情報を得て支援に役立てています。就学と同時に利用を開始される方はおられません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	出来る限り、支援内容等の情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センターがSVを行う体制にありません。	今後機会があれば受けたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		地域の学校に通う児が多く、日頃の学校生活での関わりがあることが多いので事業所としては機会を作っておりません。外出した公園などで一緒になったり、地域のイベント等に参加しています。インクルージョンの視点はしっかりと持ちながら必要な機会を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	県協議会人材育成部会や圏域の人材育成や放課後等デイサービス関連のWGに参加しています。	より安心して暮らしやすい地域作りを目指して取り組みたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	気軽に連絡をいただけるように事業所用のLINEを準備しています。気になること等は連絡をとり、状況や課題についてお話をいただいています。	今後も丁寧に連絡を取らせていただき、共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	情報提供はさせていただきましたが、研修などの機会を作ることはできませんでした。	家族が参加できる学習会等の開催に向けて準備を進めます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		今後も丁寧に伝えさせていただきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者、子どもと別の機会面で面談させていただき、意向を確認させていただいています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があれば対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会等は開催できませんでしたが保護者もご参加いただけるイベントの開催は行いました。	保護者会の開催やきょうだい同士で交流できる機会の開催に向けての準備を進めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	重要事項説明書で窓口等についてお知らせしています。苦情解決の体制も整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	おたより等で発信しています。	今後も活動等について積極的に発信します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報についての同意書をいただいたり、写真や名前の使用範囲について確認書を提出いただいています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	電話での直接的なお話が苦手な児や保護者も気軽に連絡できるように事業所用のLINEを用いています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	招待する機会は作ることはできませんでしたが地域のイベントには積極的に参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	ご家族には各マニュアルが策定されていることは周知しています。職員は年度初め方針会議で確認しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	策定し、訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用開始時や年度初めにシートに記入いただいたり変更があった場合は連絡をいただけるようお願いしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	医師の指示書が必要な子どもの利用はありません。	必要に応じて対応したいと考えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画で訓練や研修、各点検、安全指導について設定し取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画を配布させていただきました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	共有し、再発防止に向けた支援内容、環境整備について検討しています。	今後も事故防止のための取り組みを行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修や虐待チェックリストを行い、虐待防止に取り組んでいます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	現在身体拘束が必要な利用児はおりませんが、身体拘束適正化委員会の設置や指針、各様式等の準備をしています。		